

「チャレボラ2022」の実施報告です

チャレボラとは、小学生から大学生を対象とした「夏休み福祉・チャレンジボランティア体験学習」の略称です。今回は2022年に行われたチャレボラについてご報告します。

7月29日（金）に中央支援学校にて、高津消防署をはじめ様々な団体の協力のもと、「災害ボランティア体験」を実施しました。当日はボランティアとして小学生4名、中学生11名が参加して災害体験や救護講習などを受けました。当日参加した学生からは「チャレボラに参加したことで知らなかったことを学べて楽しかった」などの感想がありました。

8月18日（木）には、上作延いこいの家にて高津第二地区社協・上作延ミニデイケア運営委員会の協力のもと、「ミニデイケアで高齢者とのふれあいボランティア体験」を実施しました。当日はボランティアとして中学生1名、高校生3名が参加してミニデイの参加者と楽しそうにゲームや歌といった内容でふれあいました。当日参加した学生からは「貴重な体験ができました」や「レクレーションをして喜んでもらうことのうれしさや楽しさに気づくことができました」などの感想がありました。



水運搬をしている様子



輪投げをしている様子

厚生福祉部
研修見学会

防災体験学習施設を見学してきました

10月4日（火）東京臨海広域防災公園にある防災体験学習施設の「そなエリア東京」を見て来ました。ここは「もしもここで大地震が起きたら72時間どう生き残れるか？」を中心テーマにした施設です。1階は防災体験ゾーン、2階では防災学習ゾーンと大型プロジェクターによる映像ホール（アニメ「東京マグニチュード8.0」を上映）が完備されています。

1階の体験ゾーンは余震が繰り返される駅前の商店街や住宅地のジオラマを移動します。タブレット端末でクイズに答えながら移動し、避難所はAR^{*}と連動した実物展示で避難場所を体験できました。緊急時はどう生き抜くのかのヒントを学び、よい体験と学習になりました。

※ARとは「拡張現実」と呼ばれ「実際にある情報」に「仮想の情報」を重ねて実際にはないものがあるように見せる技術です。



見学者は被災した街のジオラマを移動することで被害の様子を体験します。

編集後記

外へ出るイベントも徐々に再開され、人と接する機会が増えてきたことが喜ばしく思える今日この頃。冬支度にあわただしい日々、この「ふれあい61号」を地域の皆さまにお届けできることをうれしく思います。皆様に笑顔と活動の雰囲気をお届けできたら幸いです（企画部・森山）。



民生委員児童委員になってよかったこと

高津第二地区社会福祉協議会 副会長 竹内敬二

私が民生委員児童委員（以下「民生委員」という）になってあつという間に9年が過ぎました。この誌面をお借りして、私がなぜ民生委員になったのか、そのいきさつと共に民生委員になってよかったと思うことをお伝えしたいと思います。

私は今から10年前に61歳で退職しました。ある日散歩中に「障がい者のクリスマスお楽しみ会・ボランティア募集」という掲示板のポスターが目が留まりました。どうせ暇だし一日なら参加してみようと思い申し込んだことが私の人生を変えました。

当日同じ町内会の女性から「あなた民生委員をやってみない」と言われ答えて窮していると、その女性の働きかけで後日、町内会長と面談する約束をさせられました。お断りしようと思って面談に臨みましたが、町内会長の熱意にほだされてとうとう民生委員になることを承諾してしまいました。地域の福祉のためという崇高な気持ちなどは全くなく、成り行きで仕方なくなってしまったというのが私が民生委員になったいきさつです。

やむなく引き受けた民生委員ですが、これが私の人生にとって大きな転機になりました。この9年間を振り返ると民生委員になってよかったと思うことが二つあります。一つはボケ防止と気力、体力の保持です。人と話す機会が多く、また会議や行事で出かけることが多く、私の心身の健康にとっても役立っています。二つめはたくさんの素晴らしい人たちと知り合えたことです。民生委員はもちろん町内会、行政、福祉関係機関や施設、ボランティア活動している人等々、今までとは全く違った世界の人たちと接することでいろいろな考え方や生き方を知り、とても良い刺激をいただきました。

民生委員になったおかげで私の人生に新たな1ページが加わりました。私が臨終を迎えるときに、民生委員になったおかげで自分の人生が豊かになったと感謝しながら旅立てれば本望です。



赤い羽根共同募金の街頭募金を再開しました

赤い羽根共同募金は、コロナ禍においても戸別募金、職域募金、学校募金などは継続してきましたが、街頭募金活動は中止されていました。今回3年ぶりに、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止していた街頭募金活動が、溝の口駅キラリデッキ（JR口、東急口）および梶ヶ谷駅等で実施され、通行中の皆様から暖かい善意の寄付金をいただきました。国際平和を脅かす行為が行われ、それに伴う経済・社会・生活不安が広がる今、共に生きるという精神にもとづき、寄付金は高齢者や障がい者、児童養護等の地域福祉活動および災害による被害者支援に役立てられます。皆様の多くのご支援に感謝いたします。



溝の口ノクティブラザ前での募金活動の様子

梶ヶ谷駅前での募金活動の様子



高津区敬老会を開催しました

9月17日（土）に、第50回高津区敬老会を、てくのかわさき「てくのホール」にて開催しました。新型コロナウイルスの影響で、昨年と一昨年は式典を開催することができませんでしたが、今回3年ぶりに90歳祝の方を会場にお招きして開催することができました。

当日は、会場に来られた47名の90歳祝の方々へ記念品を贈呈し、高津区長、川崎市社協会長、高津区全町内会連合会長からそれぞれお祝いの言葉をいただきました。

また、区内老人クラブの功労者、地域福祉活動の功労者、多額寄付者の方への本会会長表彰、感謝を併せて行いました。

最後に洗足学園大学の学生によるスペシャルコンサートを行い、サクソの素敵な音色を聞きながら、盛況のうちに終わることができました。開催にあたりご協力いただいた方々には、この場を借りてお礼申し上げます。



富田会長から90歳祝の方へ、記念品の贈呈を行いました。



街のトピック 坂戸第一町会の坂戸青空体操

音楽に合わせて
元気に体操

坂戸御嶽神社から聞こえるラジオ体操の曲で、元気に走り回る2歳の子どもさんから町会長はじめシニア世代の方々まで、30名ほどが週に一度集まって、音楽に合わせて元気に体操しています。



世話人役の前島さん

神社役員の前島さんを中心に「皆でつながる交流を」と今年1月から話が始まり、4月から「NHK みんなの体操」に出演中の坂戸出身の新井庸太さんに講師として協力いただき開催されるようになりました。

朝8時には集まった方々のおはようございますの挨拶からスタートです。体操の合間には体の使い方や脳トレ運動をいれながら笑いがおきる楽しいひとときになっています。

前島さんは「地域で交流できる元気の輪をひろげよう」と、また新井さんは「初めから考えると皆さん上達しました。自分も持っている知識を皆さんでやることで勉強になります」とのコメントがありました。



賛助会費ご協力ありがとうございました

このたび、地域の皆様に賛助会員のご協力をお願いしたところ、多くの方が賛助会員に加入していただき厚く御礼申し上げます。お寄せいただきました賛助会費は社会福祉事業の推進に役立たせていただきます。



地域と共に歩む学校

高津中学校 校長 高村 寛

昭和22年に開校した本校は、今年度創立76年を迎えました。「敬愛」「忍耐」「向学」「健康」という学校教育目標を掲げ、よき社会人としての基礎を培うことができるよう日々の教育活動を実践しています。

コロナ禍の今は中断していますが、以前より吹奏楽部、茶道部、美術部等文化部や合唱など、文化的活動の交流を近隣の小学校や町内会、自治会の催事に参加して推進してきました。新型コロナウイルス感染症が収束した暁には、活動を再開し、地域との関わりを再び深めていきたいと考えています。

また、本校にはNPO 高津総合型スポーツクラブ SELF の事務局が置かれており、施設を有効活用してスポーツや文化活動など40種類以上の活動が行われています。このことも地域の方々にとって本校が身近な存在となっている要因の一つであると感じています。



青少年福祉部の
イベント

「夏休み親と子のお楽しみ会」に参加しました

大暑を迎えた7月下旬「夏休み親と子のお楽しみ会」に2歳の子どもと参加してきました。このイベントは高津第二地区社会福祉協議会・青少年福祉部が主催しているイベントで今年は3年ぶりの開催です。イベント前にスタッフの方にお話を聞くと「久しぶりの開催で、私たちが緊張している」といった声が聞かれました。

消毒を行い、会場内に入ってみると、参加者別にプレイマットが敷かれ、適切な距離が保たれていたことに好印象を受けました。

10時になりイベントがスタートすると、初めに絵本・紙芝居の読み聞かせがありました。想像していたより本格的で、読み聞かせというよりは演劇を見ているようでした。DVDは「トムとジェリー」の上映でした。音とアクションだけのお話なので子どもたちは大笑い！ こういった年代の子どもでも楽しめるお話の選択も秀逸だと感じました。

最後に南京玉すだれの披露がありました。南京玉すだれは諸説ありますが、当時の口上の文句が由来になっているそうです。旅芸人がお客を呼び込むためにインパクトのある口上を考えた結果、この名前になったという由来は親世代の私自身も勉強になりました。

どの演目も短時間で完結し、子どもが飽きないよう工夫されている印象を受けました。90分のイベントはあっという間に終わりました。子どもにとっても親にとっても、貴重な機会となりました。ぜひ、また来年参加したいイベントの一つになりました。



集中して
聞いています!